

## 令和8年度「訪問介護事業所そわか」職場環境等要件について

### ① 入職促進に向けた取組

- ・法人や事業所の理念をホームページにも掲載し、この理念に共鳴共感する職員が気持ちよく業務できるよう環境を作っている。
- ・幅広い採用の仕組みとして、年齢性別にこだわりなく当事業所に興味を持って頂いた方であれば採用を検討している。特に年齢については、他の事業所において定年退職等でお辞めになられた方も、仕事に対する熱意や前向きな気持ちがあればできるだけ採用してご活躍をしていただいている。
- ・地域事業の一環として、包括支援センターが主催する行事等にはできるだけ参加し地域の方々とコミュニケーションを取り合っている。

### ② 資質の向上やキャリアアップに向けた支援

- ・サービス提供責任者においては毎年専門研修を受講しており、また資格取得を目指す職員には、働きながら必要な研修を受けることができるようにシフトの調整を行なっている。受講料の貸付希望があれば対応する仕組みがある。
- ・業務に必要な資格と連動したキャリアによる手当を創設している。
- ・下段の多様な働き方にも関係するが、日頃から職員の家庭の状況などを確認して現状の働き方について話合っている。

### ③ 両立支援、多様な働き方の推進

- ・事業所開設当時から、家庭の状況に応じた働き方に対応してきており、パート社員から正社員へ転換した職員もいる。
- ・パート職員も含めて有給休暇が取れるように利用者に対して複数の担当制としている。

### ④ 腰痛を含む心身の健康管理

- ・パート社員も含めて健康診断を受けている。
- ・事業所研修において、身体負担軽減の技術指導をカリキュラムに加えて実施している。

### ⑤ 生産性向上（業務改善及び働く環境改善）のための取組

- ・生産性向上ガイドラインを参照し、生産性向上委員会をおこなっている。
- ・上記の生産性向上委員会で業務の見える化についても検討し活動している。
- ・訪問介護員にはタブレットを貸出ししている。
- ・業務の手順書や記録、報告は、上記のタブレットにより訪問前には行なっている。
- ・またタブレットには、記録ソフト、チャットツールのラインワークス、Gmail が使える環境にあり、適宜必要な IT ツールを使用している。
- ・5S 活動の実践を事務所内で行なっている。

### ⑥ やりがい、働きがいの構成

- ・業務として各ミーティングを定期的で開催し職場内コミュニケーションの円滑化や情報交換を行なっている。
- ・事業所研修において、利用者本位のケアや倫理感など研修を通して学習をしている。
- ・利用者さんやそのご家族さんからの謝意等の情報があれば、チャットツールのラインワークスを経由して情報の共有をしている。